

## 非英語専攻の学生のための英語必修科目 : CSK英語 科目の7年間を振り返って

著者名(日)	伊藤 泰子
雑誌名	神田外語大学紀要
巻	27
ページ	225-241
発行年	2015-03-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1092/00001159/">http://id.nii.ac.jp/1092/00001159/</a>

非英語専攻の学生のための英語必修科目  
～CSK 英語科目の 7 年間で振り返って～

伊藤 泰子

1. はじめに

現代社会において英語は国際語であるが、世界の英語話者の国の構成は大きく分けて3つあると言われている (Kachru, 2009)。Kachru (2009) によると、アメリカやイギリスなど母語として英語を使う国 (the Inner Circle)、インドやシンガポールなど公用語として英語を使う国 (the Outer Circle)、そして日本や中国など外国語として英語を使う国 (the Expanding Circle) の3つのグループに分けられる。この Kachru (2009) のモデルにも見られるように、今や国際語となった英語はネイティブスピーカーだけのものではなく、ネイティブスピーカーとノンネイティブスピーカーとの間のコミュニケーション、さらにはノンネイティブスピーカー同士のコミュニケーションでも使用されるのである。特に、母語が違う者同士がコミュニケーションをとる際、お互いに相手の母語がわからない場合には両者にとって外国語となる英語を使用することが多々ある。

このような現状をふまえ、神田外語大学 (以下「本学」) では英語専攻の学生に対する英語教育を充実させると同時に、the Expanding Circle に属する国の人々とコミュニケーションをとることになるであろう非英語専攻の学生にとっても英語教育の充実は不可欠であると考えている。本学の非英語専攻、すなわち中国語・スペイン語・韓国語 (以下 CSK) 専攻の学生は共通英語科目である CSK 英語科目を履修しているが、本稿では私がその科目のコーディネーターとして着任した 2006 年 4 月から 2013 年 3 月までの 7 年間で振り返り、CSK 英語科目に関するこれまでの取り組み、そして今後の

課題について論じる。

## 2. CSK 英語科目の概要

### 2. 1. CSK 英語科目とは

CSK 英語科目にある CSK とは、その科目を履修する学生の専攻語である中国語、スペイン語、韓国語のそれぞれの英語名称、すなわち **C**hinese、**S**panish、**K**orean の頭文字をとったものである。本学における学科の再編により 2012 年 4 月より現在まで中国語、スペイン語、韓国語は「専攻」という扱いになっているが、2012 年 3 月までは中国語、スペイン語、韓国語は「学科」であったため、本稿で論じる CSK 英語科目は中国語、スペイン語、韓国語学科の学生の共通英語科目という位置づけとなる。

### 2. 2. カリキュラムの概要

かつて中国語・スペイン語・韓国語学科においては「英語を含む 13 言語のうち専攻語以外の一言語を、1 年 2 期 4 単位選択必修として履修」することとなっていた（藤田、2006、p. 520）。しかしカリキュラム改定にともない、2005 年 4 月より CSK 英語科目が新設され、これにより 3 学科における英語科目は 1 年次から 3 年次までの必修となった。各年次ごとに英語科目の名称が設定されており、1 年次に履修する科目は CSK Freshman English、2 年次は CSK Sophomore English、そして 3 年次は CSK Advanced English となっている。単位数と基本的な履修年次は表 1 の通りである。

表 1. CSK 英語科目一覧

コース	単位数	基本的な履修年次
Freshman English (a)	2	1 年前期
Freshman English (b)	2	1 年後期
Sophomore English (a)	2	2 年前期
Sophomore English (b)	2	2 年後期
Advanced English (a)	2	3 年前期
Advanced English (b)	2	3 年後期

表 1 の中で、各年次の前期に開講される科目が(a)で、後期に開講される科目が(b)となっている。各科目は週 2 コマで、うち 1 コマは英語のネイティブスピーカー教員（以下「ネイティブ教員」）が担当し、もう 1 コマは日本人教員が担当している。リスニング・スピーキングは主にネイティブ教員が、リーディング・ライティングは日本人教員が担当している。

オンラインシラバスに記載されている CSK 英語科目の概要は表 2 の通りである。

表 2. CSK 英語科目のオンラインシラバス

Freshman English (CSK)
<p><b>【目標】</b>                      実用的コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につけます。特に読解力、聴解力、発話力の向上を重点的に行いますが、語彙力、文法力も補強します。</p> <p><b>【具体的な目的】</b>                      &lt;読解&gt;：比較的易しい英文を素早く読み理解できる。                      &lt;聴解&gt;：自然なスピードで話す教員の説明や、なじみのある話題に関する英語を理解できる。                      &lt;発話&gt;：基礎的な会話を行うことができ、簡単な内容についてディスカッション、プレゼンテーションもすることができる。</p>

<p>[授業の内容] 多読、精読、リスニング、ディスカッション、プレゼンテーション、SALCやインターネットを利用した練習。週2回の授業を日本人教員と英語の母語話者教員が担当します。</p> <p>評価方法： 出席、授業参加、課題、プレゼンテーション、テストの点数などによる総合評価。</p>
<p><b>Sophomore English (CSK)</b></p>
<p>[目標] <b>Freshman English</b>で培った基礎をもとに、さらに実用的な読解力、聴解力、発話力の養成を目指します。</p> <p>[具体的な目的] &lt;読解&gt; *比較的易しい英語で書かれた70ページ程度の本を1週間で読める。 *ネイティブスピーカー向けに書かれた易しい英文を辞書を使って読める。 *多様なジャンルの英文を理解でき、読んだ内容をもとにタスクを行う。 &lt;聴解&gt; *自然なスピードで話す教員の説明を理解できる。 *やや複雑な内容の英語を聞いて理解できる。 &lt;発話&gt; *自分で調べた事柄について英語でディスカッション、プレゼンテーションをすることができる。</p> <p>[授業の内容] 多読、精読、リスニング、ディスカッション、プレゼンテーション、SALCやインターネットを利用した練習。週2回の授業を日本人教員と英語の母語話者教員が担当します。</p> <p>評価方法： 出席、授業参加、課題、プレゼンテーション、テストの点数などによる総合評価。</p>
<p><b>Advanced English (CSK)</b></p>
<p>[目標] <b>Freshman English</b>、<b>Sophomore English</b>で培った基礎をもとに、ビジネス英語も取り入れながら、さらに実用的な読解力、聴解力、発話力の養成を目指します。</p> <p>[具体的な目的] &lt;読解&gt; *ネイティブスピーカー向けに書かれた英文を辞書を使って読める。 *多様なジャンルの英文を理解でき、読んだ内容をもとにタスクを行う。 &lt;聴解&gt; *教員が自然なスピードで話す英語の説明を理解できる。 *複雑な内容の英語を聞いて理解できる。 &lt;発話&gt; *自分で調べた事柄と共に自分の意見も混ぜながら、英語でディスカッション、プレゼンテーションをすることができる。</p>

[授業の内容]

多読、精読、リスニング、ディスカッション、プレゼンテーション、SALCやインターネットを利用した練習。週2回の授業を日本人教員と英語の母語話者教員が担当します。

評価方法： 出席、授業参加、課題、プレゼンテーション、テストの点数などによる総合評価。

### 2. 3. 担当教員

週2コマのうち、1コマをネイティブ教員が、もう1コマを日本人教員が担当している。非英語専攻の学生であってもネイティブスピーカーの英語に触れる機会を提供するとともに、ネイティブスピーカーとうまくコミュニケーションがとれず不安を感じる学生は日本人教員に相談することもできる仕組みになっている。また日本人教員が、英語学習の中でも文法学習など、特に日本語での説明が必要な部分のケアをすることも可能となっている。日本人教員の授業でも、基本的に授業は英語で行うが、文法の説明など、日本語のほうが適切と思われる場合には日本語を使用しても構わないとしている。

2006年度頃は、ネイティブ教員は本学 English Language Institute (ELI) の教員と非常勤講師で成り立ち、日本人教員は専任は私一人で他は非常勤講師という構成であった。しかし近年ではネイティブ教員はすべて本学の ELI または Self-Access Learning Center (SALC) 所属の教員となっており、日本人教員は専任が数名と他は非常勤講師という構成となっている。

### 2. 4. 英語能力試験

CSK 英語科目では毎年年度末に英語能力試験を実施し、1年間の英語能力の変化を測るとともに、次年度のクラス分けの際にそのスコアを参考としている。2009年度までは本学が開発した Kanda English Proficiency Test (KEPT) が年度末英語能力試験として使用されていたが、2010年度からは

TOEIC を使用している。年度末に実施される英語能力試験のスコアにより、次年度のクラスを基礎、中級、上級の3レベルに分けている。

## 2. 5. 使用教材

使用教材は教員によって異なっている。2006年度から数年間は日本人教員のクラスでは主に Longman による *NorthStar Reading and Writing* のシリーズが使用されていて、年次そしてレベルによって *NorthStar Reading and Writing* の違うレベルの本が使用されていた。ネイティブ教員のクラスでは、ELI の教員は英米語学科や国際言語文化学科（当時）用に開発された教材を使用しており、非常勤講師は各自教科書を選んで使用しているという状況であった。

近年では、日本人教員もネイティブ教員も市販の教科書を選んで使用したり、他学科用に開発された教材を CSK 英語科目に合うようにアレンジして使用したりしている。また、過去には ELI の教員によって CSK 英語科目用に教材が開発されたこともあった。

## 2. 6. 科目の運営

CSK 英語科目は学科をまたがる科目であるため、CSK 英語科目運営小委員会を設置し、定期的に会議を開催して様々な議題を話し合っている。委員の構成メンバーは、委員長（藤田知子教授）、CSK 各学科からの代表者1名ずつ、英米語学科教員1名、コーディネーターとなっており、会議には教務課の CSK 英語科目担当の方々にも出席して頂いている。

## 3. 年度ごとの主な取り組み

### 3. 1. 2006年度

私が CSK 英語科目のコーディネーターとして着任した 2006年度は、CSK

英語科目が設置されて2年目にあたる年であった。したがって、開講されていたCSK英語科目はCSK Freshman EnglishとCSK Sophomore Englishのみで、CSK Advanced Englishはまだ開講されていなかった。そのため、次年度のCSK Advanced Englishの内容をどのようにするかなど、この年は様々な課題があった。

まず、カリキュラムがまだ具体化されていなかったため、カリキュラムを確立させる必要があった。その一環として学生にアンケートを実施した。259名からの回答があり、「3年間のCSK英語科目の履修を通じて、どのような英語力が身につけていることを期待するか？」という質問に対して、「自分の意見・意思が伝えられること」、「日常会話」「実用的な英語運用能力」という意見が目立った。また、「TOEICを意識した授業にして欲しい」という回答もかなり多くあった。

さらにカリキュラム作成の一環として、北原賢三キャリア教育センター長（当時）より、CSKの学生の就職と、その中での英語の位置づけについてCSK英語科目運営小委員会会議にてお話をして頂いたこともある。就職における英語の位置づけを把握することでカリキュラム作成に役立てるねらいがあった。主な内容としては、「外国語学部の卒業生ということで、社会からはある程度実用的な英語力はあると思われる」「中国語・スペイン語・韓国語を重視して採用された場合はそれほどの英語力は期待されていないが、実際の仕事では英語は不可欠であるため基礎力は必要となる」といった点が挙げられた。

これらのことを考慮して、CSK Freshman Englishにおいては日常英語、CSK Sophomore Englishにおいてはアカデミック英語、CSK Advanced Englishにおいてはビジネス英語を扱うとして、付録にあるような具体的なカリキュラムを作成した。



### 3. 2. 2007 年度

2007 年度より CSK Advanced English が開講され、これですべてのクラスが開講されることとなった。2006 年度終わり頃からは、年度末の英語能力試験の受験率が低いということが問題点として挙げられるようになった。受験する学生が少ないと、次年度のクラス分けに影響が出てしまうため、受験率を上げるための方策を練る必要性があった。この点についてはかなりの時間を費やして話し合いを行ったが、最終的な合意は 2008 年度に出された。

また、2007 年度も CSK 英語科目に関するアンケートを実施し、299 名から回答を得た。この年より開講された CSK Advanced English ではビジネス英語を扱うこととなったが、アンケート結果によるとビジネス英語をやることについて意見は中間的であり、やや「意味がある」ととらえられているようであった。また、授業でやってほしいこととして、CSK Freshman English の基礎レベルのクラスでは「文法」という回答が他学年に比べて目立った。文法や語彙は語学学習の基礎であるため、この点の強化はすべての CSK 英語科目において必要であろう。

### 3. 3. 2008 年度

2006 年度終わり頃から問題点として挙げられ議論を続けてきた、年度末の英語能力試験の受験率を高める方策として、2008 年度に「CSK 英語科目における年度末 KEPT の扱いについて」として結論を出した。すなわち、「現 1・2 年生は、KEPT を受けなければ、次年度の CSK 英語科目の履修登録ができない」として、年度末に実施される KEPT の受験を次年度 CSK 英語科目履修の条件のひとつとした。3 年生については、翌年度は CSK 英語科目は履修しないため、そのような条件は課さない。試験実施時期に留学中など、やむを得ない事情で受験ができない場合の対応も同様に議論した。

### 3. 4. 2009 年度

2009 年度より、CSK の学生を対象とする年度末の英語能力試験を KEPT から TOEIC に変更することが決定した。その主な理由としては、波及効果が望めること、そして学内だけでなく、学外と比べて本学の学生の能力がどの程度なのか把握しやすくなる、という利点が挙げられた。また、新入生を対象とする 3 月の試験については、TOEIC では難易度が高いであろうという考えから、TOEIC Bridge を実施することとなった。

この年度のもうひとつの大きな取り組みとしては、出席に関する規則の設定がある。担当教員によって規則が異なることは学生間で不公平が生じてしまうため、CSK 英語科目として共通の規則をもうけることとした。これについては 2009 年度に議論を重ねたが、最終的な合意案は 2010 年度に出された。

### 3. 5. 2010 年度

昨年度より CSK 英語科目運営小委員会において出席基準について話し合いを行い、その結果「各教員の担当コマ(つまり週 2 コマのうちの 1 コマ分)において、「理由のない欠席」が 5 回累積した場合は、自動的に F (不合格)になる」という案で合意し、2011 年度よりこの規則を適用している。

2010 年度は学科再編にともなうカリキュラム改定についての議論がなされる年となり、それに併せて CSK 英語科目の到達目標を明文化する必要性が出た。2010 年度に表 3 にある目標を設定した。到達目標は TOEIC の点数で設定したが、それぞれの点数がどのようなコミュニケーション能力を表しているかについては、ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)) を参考にした。

表 3. CSK 英語科目の到達目標<sup>1</sup>

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次(卒業時)
到達目標		CEFR A2 (概要) ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する頻度の高い文や表現を理解できる。身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。自分の背景や身の回りの状況や直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。		CEFR B1 (概要) 日常生活で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば要点を理解できる。その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、大抵の事態に対処することができる。身近で個人的にも関心のある話題について、脈絡のあるテキストをつくることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。
語彙数 (累計)		家族、趣味や関心、仕事、旅行など、本人の日常生活に関わる話題について、簡単な言葉で自己表現できるだけの語彙を持っている。		家族、趣味や関心、仕事、旅行、時事問題など、本人の日常生活に関わる大部分の話題について、自己表現できるだけの語彙を持っている。
語学検定試験		TOEIC 500		TOEIC 600
4 技能の運用能力				
聞く		直接自分に関わりのある領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。短くはつきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。		日常生活で出会う身近な話題について、情報の要点を的確に理解できる。話が聞き慣れた話し方で発音もはつきりしていれば、メッセージの細部も理解できる。
話す		単純な日常の生活の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。		自分の関心のある様々な話題について、ある程度の流暢さで、簡単な口述やプレゼンテーションができる。
読む		広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常的で単純、そして具体的に予測がつく情報を取り出すことができる。		自分の専門分野や興味に関連のある主題について、簡潔な事実関係のテキストを読んで、十分に理解できる。

<sup>1</sup>注：CEFR の A2 レベルと B1 レベルに関する説明は吉島・大橋（2004）を参考にした。（[http://wwwsoc.nii.ac.jp/jgg/jggla/library/cef\\_verzeichnis.html](http://wwwsoc.nii.ac.jp/jgg/jggla/library/cef_verzeichnis.html)。）

非英語専攻の学生のための英語必修科目  
～CSK英語科目の7年間を振り返って～

書く		直接的な必要性のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。	関心のある話題について纏まった簡単なエッセイを書くことができる。自分の専門範囲の事柄について、情報を収集した上で総括し、報告できる。また、それに対し、自分の意見を提示することができる。
----	--	---	--

カリキュラムが改定されることになり、CSK 英語科目もこれまでの必修 12 単位に加えて、4 単位が選択必修として加わることとなった。

カリキュラム改定に伴い、この年にまた CSK 英語科目全クラスを対象にアンケートを実施した。継続したほうがよいこととしては、「プレゼンテーション、ディスカッション、単語テスト」という回答が目立った。また、導入してほしいこととしては「リスニングや会話をもっとやりたい」、そして「TOEIC」という回答が目立った。授業内で TOEIC を扱う日本人教員が徐々に増え始めていた頃なので、学生のニーズに合った方向性であると思われる。

### 3. 6. 2011 年度

この年度は、私が家庭の事情で休暇を頂いていたため、金谷優専任講師(当時)がコーディネーターを務めた。2011 年度は学科再編に伴うカリキュラム改定に関する話し合いに多くの時間を費やし、選択必修となった 4 単位の内容について具体的な案をまとめることとなった。新しいカリキュラムでは中国語・韓国語専攻の学生は 4 単位を英語科目で、スペイン語専攻の学生はその 4 単位を英語科目、スペイン語科目、あるいはブラジル・ポルトガル語科目から選択するとし、その科目の一覧を作成した。本学の自律学習施設 SALC で行う「SALC Learning Course (CSK)」という科目も新設され、科目の一覧に追加された。

またこの年には本学で開発された Kanda Assessment of Communicative

English(KACE)というスピーキングテストも在学生向けの年度末の TOEIC および新入生向けの TOEIC Bridge に追加されることとなった。さらにこの年、ELI においてネイティブ教員の CSK 英語科目コーディネーターが選出されることになり、日本人教員コーディネーターとともに協力してカリキュラム改善に取り組むことができるようになった。

### 3. 7. 2012 年度

新しいカリキュラムの初年度ということで、選択必修の 4 単位をなるべく 4 年生になるまでに取得することを指導する必要性があった。多くの学生が「英語資格基礎 I」という、オンラインの英語学習科目を履修しているようであった。

### 4. 今後の課題

かつてのカリキュラムでは必修科目 12 単位が週 2 コマで行われており、高校のときよりも英語力が落ちてしまったと感じる学生も少なくなかった。専攻語の授業が大半を占める時間割となるため、英語学習に費やせる時間が少なくなり、その結果英語力の衰えを感じてしまうということなのであろう。選択必修 4 単位が追加された新しいカリキュラムが始まって現在 3 年目となるが、学生の英語能力の変化は今後も常に検証する必要がある。

また、新しいカリキュラムに伴い到達目標を設定したが、現在のカリキュラムをその到達目標に合わせた内容に調整する必要性もあり、2013 年度より新しくコーディネーターになられた藤村朋子専任講師のもと、その作業は現在少しずつ進められている。

### 5. おわりに

2005 年度からのカリキュラムのもとで必修科目の CSK 英語科目が始まり、

そして2012年度からの新しいカリキュラムでさらに選択必修としての4単位が追加され、中国語・スペイン語・韓国語を学ぶ学生にとって英語学習がさらに重要な位置を占めるようになってきた。本学キャリア教育センターの方たちが話していたことからわかるように、外語大学の卒業生ということで、社会においては「英語が使える人材」という印象を持たれるのである。しかしこれは決して社会における印象だけにとどめるのではなく、国際語としての英語が使えることは必須であるため、外語大学で勉強をする非英語専攻の学生に英語学習の機会を十分に与え指導していくことは教員の役目であると強く感じている。そのために、カリキュラムの充実、自律学習施設SALCの活用など、今後さらに取り組んでいくことが望まれる。

#### 参考文献

藤田知子（2006）「外国語学部における外国語教育活性化の試み―「選択外国語科目」の4年間―」『神田外語大学紀要』18, 519-534.

Kachru, B. B. (2009). World Englishes and culture wars. In B. B. Kachru, Y. Kachru & C. L. Nelson (Eds.), *The Handbook of World Englishes* (pp. 446-471). UK: Wiley-Blackwell.

吉島茂、大橋理枝他編訳（2004）『外国語教育Ⅱ 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社

付録

Curriculum for Three-year CSK English  
(Updated on January 13, 2010)

- This document was prepared by Yasuko Ito (former CSK English coordinator) based on the documents prepared by Prof. Yuichi Watanabe and the CSK English Steering Committee
- It was reviewed by the CSK English Steering Committee members in November, 2006, and the CSK English teachers were also asked for any feedback to this document in December, 2006.

Starting point

At the beginning of the freshman year, CSK students' English proficiency and their motivation can be characterized in the following way:

TOEIC:  
300-500

Speaking: Generally not as fluent as English majors: some fear toward native speakers of English

Vocabulary: 2000 head words or less?

Grammar: pre-intermediate (many might need a review of high-school grammar)

Motivation: large individual differences: some are very low.

Point to Achieve

- (Hopefully) English necessary to live and work in English speaking countries: including reading newspaper articles, business letters, bills, ads, and so on.
- Learn discussion skills, oral interaction, presentation skills, email reading/writing, and so on.

<p>General Goals</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Build foundation of CSK English classes</li> <li>• Remove or reduce "I'm no good" attitude toward English</li> <li>• TOEIC 450-500 by the end of the Freshman</li> </ul>	<p><b>Freshman</b></p> <p>English in daily life</p>	<p><b>Sophomore</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Learn more functional proficiency in English based on the foundation built in Freshman English or finish building foundation</li> <li>• TOEIC 500-550 by the end of the Sophomore</li> </ul> <p>Academic English</p>	<p><b>Advanced</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TOEIC 600 by the end of the third year</li> </ul> <p>Business English</p>
--	---	---	---

Note: As KUIJS has several courses for TOEIC study, the CSK English Program wants to help students improve their TOEIC scores so that they can get scores that are required in order for them to register for such courses.

Evaluation throughout their three-year study of English:

TOEIC taken

- (1) right before their entrance to KUIJS (TOEIC Bridge)
- (2) at the end of their 1st year
- (3) at the end of their 2nd year
- (4) at the end of their 3rd year

Goals According to Years

- Unless specified as "optional," all the skills are required in each year.
- Materials and tasks to be used in class are not restricted to what's written in the "Materials/Tasks" in the table. They are suggestions to help you. You are welcome to use other materials as long as they meet the goals of the classes.

	<b>Freshman</b>	<b>Sophomore</b>	<b>Advanced</b>
Listening (To be covered mainly by native-speaker teachers)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Become able to listen and understand naturally spoken English with simple content</li> <li>• Learn to recognize and process words and phrases in naturally spoken English</li> <li>• Learn phonological features of naturally spoken English (e.g., deletion, co-articulation, reduction)</li> <li>• Get used to all kinds of Englishes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Become able to listen and understand relatively simple spoken English dialogs and monologs of the kinds that often appear in TOEIC</li> <li>• Become able to listen and successfully perform simple tasks with relatively complex monologs and dialogs (doing something based on listening)</li> <li>• Get used to all kinds of Englishes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Become able to listen and understand medium difficulty spoken English dialogs and monologs of the kinds that often appear in TOEIC</li> <li>• Become able to listen and successfully perform medium difficulty tasks with relatively complex monologs and dialogs (doing something based on listening)</li> <li>• Critical listening</li> <li>• Get used to all kinds of Englishes</li> </ul>
	<b>Goals/Skills</b>		
	<b>Materials/Tasks</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Movies (with academic contents, such as serious topics, instead of comedies)</li> <li>• Phrases from movies</li> <li>• TV news, and discussions based on the news</li> <li>• Questions from TOEIC</li> <li>• Materials at SALC (extensive listening)</li> <li>• Intensive: 3-Round method (gist to details)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Movies (with academic contents, such as serious topics, instead of comedies)</li> <li>• Phrases from movies</li> <li>• TV news, and discussions based on the news</li> <li>• Questions from TOEIC</li> <li>• Materials at SALC (extensive listening)</li> <li>• Intensive: 3-Round method (gist to details)</li> </ul>
Speaking (To be covered mainly by native-speaker teachers)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Daily English</li> <li>• Remove or reduce mental block about speaking in English</li> <li>• Learn to introduce oneself in front of audience</li> <li>• Show and tell with memo</li> <li>• Introduce a graded reader to the group and to the class</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Discussion skills, presentation skills</li> <li>• Learn to discuss for learning and problem solving</li> <li>• Learn discussion procedures and roles of discussants</li> <li>• Learn to give a presentation with memo</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Discussion skills, presentation skills</li> <li>• Learn to discuss for learning and problem solving</li> <li>• Learn discussion procedures and roles of discussants</li> <li>• Learn to give a presentation with memo</li> </ul>
	<b>Goals/Skills</b>		



Pronunciation (To be covered mainly by native-speaker teachers, but should also be covered by Japanese teachers when necessary)	Materials/Tasks	<ul style="list-style-type: none"> <li>Learn phonological features of naturally spoken English (e.g., deletion, co-articulation; reduction)</li> </ul>	Undecided	Undecided
	Goals/Skills	<ul style="list-style-type: none"> <li>(Required in Freshman)</li> <li>Become able to speak English in a comprehensible manner, rather than with <i>katakana</i>-like pronunciation</li> <li>Learn segmental and suprasegmental features</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Become able to speak English in a comprehensible manner, rather than with <i>katakana</i>-like pronunciation</li> <li>Learn segmental and suprasegmental features</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(Optional in Sophomore)</li> <li>Become able to speak English in a comprehensible manner, rather than with <i>katakana</i>-like pronunciation</li> <li>Learn segmental and suprasegmental features</li> </ul>
Reading (& writing) (To be covered mainly by Japanese teachers)	Materials/Tasks	<ul style="list-style-type: none"> <li>Materials at SALC</li> <li>Become able to read and understand "high school level" English with ease</li> <li>Do intensive &amp; extensive reading</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Materials at SALC</li> <li>Become able to read and understand unmodified, relatively simple passages of the kinds that often appear in TOEIC</li> <li>Become able to read and successfully perform simple tasks with relatively complex passages (doing something based on reading)</li> <li>Do intensive &amp; extensive reading</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Materials at SALC</li> <li>Become able to read and understand unmodified intermediate level passages of the kinds that often appear in TOEIC</li> <li>Become able to read and successfully perform medium difficulty tasks with relatively complex passages (doing something based on reading)</li> <li>Critical reading</li> <li>Do intensive &amp; extensive reading</li> </ul>
	Goals/Skills	<ul style="list-style-type: none"> <li>Graded readers</li> <li>Passages from various genres as in TOEIC</li> <li>Pre-intermediate to intermediate level materials</li> <li>Modified or unmodified with glosses or translations</li> <li>Various reading materials to encounter in daily life (English newspaper, e-mails, recipes, lyrics, and so on)</li> <li>How to write e-mails (to friends)</li> <li>Collect information from the internet</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Graded readers</li> <li>Passages from various genres as in TOEIC</li> <li>Intermediate level materials</li> <li>Modified or relatively simple unmodified with few glosses or translations</li> <li>English newspaper</li> <li>Editorials in newspaper</li> <li>How to write e-mails (inquiry to a company, and so on)</li> <li>Collect information from the internet</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Graded readers</li> <li>Passages from TOEIC materials (TOEIC 600)</li> <li>Unmodified texts without gloss or translation</li> <li>How to write business documents</li> <li>How to write e-mails (business e-mails)</li> <li>Collect information from the internet</li> </ul>
Vocabulary	Goals/Skills	<ul style="list-style-type: none"> <li>Master 2000 headwords thoroughly</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Solidify, 2000 headwords:</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Solidify 3000 headwords:</li> </ul>

(To be covered mainly by Japanese teachers, but should also be covered by native-speaker teachers when necessary)		meanings, usage, collocation, access speed	meanings, usage, collocation, access speed Acquire 4000 level vocabulary: academic words, TOEIC	meanings, usage, collocation, access speed Acquire 4000 level vocabulary: academic words, TOEIC
	Materials/Tasks	<ul style="list-style-type: none"> <li>Recycling of words</li> <li>Word List</li> <li>Extensive reading</li> <li>Quizzes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Recycling of words</li> <li>Word List</li> <li>Extensive reading</li> <li>Quizzes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Recycling of words</li> <li>Word List</li> <li>Extensive reading</li> <li>Quizzes</li> </ul>
Grammar/Usage (To be covered by both native-speaker and Japanese teachers)	Goals/Skills	<ul style="list-style-type: none"> <li>Grammar that is necessary for reading and listening comprehension</li> <li>Review high-school grammar if necessary</li> </ul>	TOEIC 550 level grammar and usage	TOEIC 600 level grammar and usage
	Materials/Tasks	Anything prepared according to lesson plans Become an autonomous learner	Anything prepared according to lesson plans Become an autonomous learner	Anything prepared according to lesson plans Become an autonomous learner
Learning strategies (To be covered by both native-speaker and Japanese teachers)	Goals/Skills	SALC orientation	Learning strategies	Learning strategies
	Materials/Tasks	<ul style="list-style-type: none"> <li>Learning strategies</li> <li>Learn to use dictionaries effectively</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Learn to use dictionaries and other tools/resources (e.g., thesaurus, internet) effectively</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Learn to use dictionaries and other tools/resources (e.g., thesaurus, internet) effectively</li> </ul>